

令和7年度 福島中学校 シラバス

学 年	3	教 科	国語	担 当	鈴木 陽子	時 数	105
-----	---	-----	----	-----	-------	-----	-----

◆教科の目標

国語の特質を理解し適切に用い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うと共に、言葉がもつ価値を認識し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を育む。
--

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に取り組む態度 【主】
趣 旨	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度をもとうとしている。

◆年間指導計画（主要単元）

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習内容	観点別評価の規準 【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考、判断、表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学習を調整しようとする」態度	評価方法
4月	Ⅰ 深まる学びへ	握手 漢字に親しもうⅠ 5時間	1 作品を通読する。 2 作品の設定を捉える。(課題 1) 3 登場人物の心情や人物像を読み取る。 4 読み深めた感想を交流する。(課題 3) 5 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 【主】物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		[聞く] 意見を聞き、適切さを判断する 2時間	1 坂本さんのスピーチの練習を聞く。 2 スピーチをよりよくするための助言を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 【主】聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
5月	Ⅱ 広がる学びへ	説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす 4時間	1 話題を決め、情報を集める。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの会を開く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【主】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
		学びて時に之を習ふ、 ——「論語」から漢文の訓読 3時間	1 「論語」について知る。 2 「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 3 日常生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまるとされる体験を伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		作られた「物語」を超えて 4時間	1 全文を通読する。 2 論理の展開を捉える。 3 筆者の主張を捉える。(課題 2) 4 筆者の主張について考え、文章にまとめる。(課題 3) 5 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 【主】進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		思考のレッスン 具体化・抽象化 2時間	1 P52 の教材文を通読する。 2 P53 の教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【主】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表

6月		論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く 5時間	1 課題に沿って材料を集める。 2 構成や内容を考える。 3 小論文を書く。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 【主】論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 ・【主】 ・発表
	3 言葉とともに	俳句の可能性 [書く]俳句の創作教室 俳句を味わう 5時間(読③書②)	1 俳句の特徴を確認する。 2 筆者の評価のしかたを捉える。(課題2) 3 好きな俳句を選び、鑑賞文を書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ) 【主】進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		言葉の釣り糸を垂らす 3時間	1 全文を通読する。 2 題名の意味を捉える。(課題1) 3 筆者のものの見方や考え方について考える。 4 文章を読んでよいと思ったところを話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 【主】筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
7月	情報×SDGs	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 4時間(読②書②)	1 P76「やってみよう」①に取り組む。 2 P77「やってみよう」②に取り組む。 3 P78-81の報道文 A・Bを通読し、P82「やってみよう」に取り組む。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【主】情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
		情報整理のレッスン 情報の信頼性 2時間	1 P84の教材文を通読し、問題1に取り組む。 2 P85の教材文を通読し、問題2に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) 【主】積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
9月	いつも本はそばに	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう コラム ためになるってどんなこと? 2時間	1 本文を読み、本のさまざまな探し方について知る。 2 学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味がもてそうな本を探す。 3 見つけた本を夏休みなどを利用して読む。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表

	4 状況 の中で	挨拶 ——原爆の写真 によせて 4時間	1 作品を通読し、当時の時代背景について確認する。 2 「顔」が象徴しているものを捉える。(課題 1) 3 表現の効果を評価する。 4 自分の意見を述べる。(課題 3) 5 学習を振り返る。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		故郷 6時間	1 作品を通読し、作品の設定を捉える。 2 場面や登場人物の設定に着目して読み深める。 3 読み深めたことを基に、作品を批評する。(課題 3) 4 学習を振り返る。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		[推敲] 論理の展開を整える 3時間	1 P120 上段の文章を通読したうえで、語句・表現や叙述のしかたを見直し、文章を整える。 2 目的や読み手に合わせて、表現や論理の展開を整える。 3 読み手からの助言を踏まえて、確かめる。 4 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【主】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
10 月		聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る 3時間	1 対談の準備をする。 2 対談を行う。 3 学習を振り返る。	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ) 【主】話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
	5 自らの 考えを	複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う 4時間	1 3人の筆者の提言を通読する。 2 文章の要旨を捉える。(課題 1) 3 文章を比較して評価する。 4 グループで討論し、提言に対する評価を基に、自分の考えをまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 【主】三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
		考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く 5時間	1 題材を選ぶ。 2 観点を決めて分析する。 3 構成を考える。 4 批評文を書く。 5 友達と文章を読み合う。 6 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【主】自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。	

		聴きひたる 初恋 2時間	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【主】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
11月	6 いにしえの心を受け継ぐ	和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序 2時間	1 P146「和歌の世界」を読む。 2 P148「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 【主】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		君待つと ——万葉・古今・新古今 4時間	1 歴史的背景を捉える。(課題1) 2 和歌の表現について話し合う。 3 表現のしかたについて評価する。(課題3) 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 【主】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		夏草 ——「おくのほそ道」から 4時間	1 作品を声に出して読む。(課題1) 2 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 3 心に響く俳句について発表する。(課題3) 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 【主】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		つながる古典 古典名作選 [書く] 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう 2時間	1 P166「つながる古典」を通読する。 2 P168「古典名作選」を朗読する。 3 古典の言葉を引用し、メッセージを贈る。 4 文章を友達と読み合い、学習を振り返る。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 【主】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したりメッセージを書いたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
	7 価値を生み出す	それでも、言葉を 4時間	1 本文を通読し、言葉に対する筆者の考えを捉える。 2 筆者の見方・考え方に対する理解を深める。(課題2) 3 言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。(課題3) 4 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート

12月		〔話し合い（進行）〕 話し合いを効果的に進めよう 2時間	1 進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た 意見を整理する。 2 進行役の発言の効果を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【主】積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
		合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 3時間	1 議題を決める。 2 グループで提案を考える。 3 全体会議を開く。 4 合意形成のポイントを振り返る。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 【主】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
1月	8 未来へ向かって	温かいスープ 2時間	1 時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 2 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 3 国際性について自分の考えをもち、伝え合う。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		アラスカとの出会い 2時間	1 全文を通読する。 2 筆者の生き方や考え方を読み取る。 3 筆者の生き方や考え方について話し合う。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】人間、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		わたしを束ねないで 2時間	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする 6時間（話聞②書④）	1 冊子のテーマを決める。 2 冊子の内容と構成を考える。 3 冊子を作る。 4 グループで発表会を開く。 5 学習を振り返る。	【知・技】話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 【主】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表
2月		初日 漢字に親しもう54時間	1 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 2 詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉え、その内容について話し合う。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 【主】詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値について考えをまとめようとしている。	【知】 ・定期考査 【思】 ・定期考査 【主】 ・発表

3月	学びを深める	国語の力試し 3時間	1 P243-246の問題に取り組む。 2 P242の二次元コードから、発展問題に取り組む。 3 振り返る。	【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【主】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。	【知】 ・定期考査 ・ワークシート 【思】 ・定期考査 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
----	--------	---------------	---	---	--